

札幌医学技術福祉歯科専門学校
学校関係者評価報告書
(令和7年度)

学校法人西野学園

札幌医学技術福祉歯科専門学校

1 はじめに

学校関係者評価委員会は、より実践的な職業教育を進めるために、教育活動に関する意見交換を行いながら、学校の自己点検・評価の結果を確認・検討することを目的として設置されています。本校では、平成 26 年度からこの委員会を継続して開催しています。

委員の皆さまは、関連する業界の方々や専門職団体の代表、地域の住民、卒業生など、さまざまな立場の方々と構成されており、幅広い視点からご意見やご評価をいただいています。

本校では、委員の皆さまからいただいた評価結果を真摯に受け止め、改善が必要な点については速やかに対応を進めてまいります。そして、教職員一同が力を合わせて、地域や社会のニーズに合った学校運営や教育課程の充実に取り組んでいく所存です。

今後とも、関係者の皆さまをはじめ、地域の皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、以下に「令和 6 年度学校自己評価」に対して審議された「令和 7 年度学校関係者評価」の内容をご報告いたします。

令和 7 年 11 月

札幌医学技術福祉歯科専門学校 校長 田邊 裕二

2 学校関係者評価委員名簿

氏 名	所 属
三浦 邦彦	日本赤十字 北海道ブロック血液センター
藪 貴代美	北海道言語聴覚士会
濱本 龍哉	新さっぽろ脳神経外科病院
泉水 康之	社会福祉法人札幌シニア福祉機構
小林 正弘	札幌市中央区西第八町内会

3 学校関係者評価委員会開催日時

令和 7 年 11 月 6 日(木) 16:00～17:20

4. 学校関係者評価

本委員会では、令和 6 年度の学校自己評価結果に基づき、教育理念・目標、学校経営、教育活動、学習成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務、法令遵守、社会貢献の各項目について審議を行った。全体として、自己評価は適切であると判定された。委員からは、学校運営に対する前向きな取り組みや改善努力に対して評価の声が多く寄せられた一方で、今後の課題や改善の方向性についても具体的な意見が示された。

【今後への提言】

- 情報システムの利便性向上と活用促進に向けた支援体制の強化。
- 国家試験合格率向上に向けた継続的な取り組みと成果の可視化。
- 学力不振による退学防止に向けた入学前後の支援体制のさらなる充実。
- 地域との連携強化に向けた具体的な施策の検討(オープンキャンパスへの地域住民の招待等)。
- 少子化を見据えた学生募集戦略の再構築と財務基盤の強化。

令和6年度学校自己評価結果に基づく学校関係者評価一覧

札幌医学技術福祉歯科専門学校

自己評価項目		年度			自己評価	学校関係者評価
		6	5	4		
Ⅰ 教育理念・目標	1	理念・目標・育成人材像は適切に定められているか。	4.7	4.8	4.7	Ⅰ 教育理念・目標についての学校自己評価は適切であると認められる
	2	社会のニーズ等を踏まえた学園・学校の構想を抱いているか。	4.6	4.7	4.5	
	3	理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保証人（父母等）に周知されているか。	4.4	4.3	4.4	
Ⅱ 学校運営	4	目標等に沿った運営方針が適切に策定されているか。	4.6	4.6	4.5	Ⅱ 学校運営についての学校自己評価は適切であると認められる
	5	運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。	4.3	4.2	4.1	
	6	情報システム等による業務の効率化が図られているか。	4.1	4.0	4.1	
	7	学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	4.4	4.2	4.1	
	8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4.7	4.5	4.5	
Ⅲ 教育活動	9	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4.6	4.5	4.6	Ⅲ 教育活動についての学校自己評価は適切であると認められる
	10	学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.4	4.5	4.4	
	11	授業規律を確保し、状況に応じて指導体制の見直しが行われているか。	4.6	4.4	4.5	
	12	関連分野の企業、施設、病院、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直しが行われているか。	4.5	4.4	4.4	
	13	成績評価、単位認定の基準は明確になっているか。	4.3	4.5	4.6	
	14	授業評価の体制が確立され、評価が適切に実施されているか。	4.3	4.5	4.4	
	15	職員の能力開発のための研修が行われているか。	4.2	4.5	4.3	
	16	クラス担任と科目担当の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確立に努めているか。	4.5	4.4	4.4	

Ⅳ 学修成果	17	就職率の向上は図られているか。	4.7	4.8	4.8	就職指導として学生サポートセンターによる就職ガイダンス、卒業生による講話、担任や学生サポートセンター職員を中心とした個別指導（面談、応募書類の点検、面接指導等）などが体系的に実施されている。また、学生サポートセンター主催のリハビリ職合同説明会、事業所説明会（臨床検査）の開催、学科では保証人懇談会の開催により就職率の向上が図られている。令和7年3月末時点では、7学科のうち4学科が就職率100%となった。	Ⅳ学修成果 についての 学校自己評価は 適切であると 認められる
	18	退学率の低減は図られているか。	4.3	4.4	4.3	退学者数は令和6年度は22名（令和5年度25名、令和4年度31名）となった。担任を中心とした個人面談の実施や学生サポートセンターとの情報共有などにより退学防止を図っている。退学理由はほぼ進路変更であるが、ペースに学業不振、心理的要因、学科（職種）への不適応なども見られる。	
	19	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか。	4.2	4.2	4.1	卒業生の社会的な活動や評価の把握は難しく、現状は個別相談、国試不合格者への対応、実習地訪問先での対応などが主となっている。学園全体では、学生サポートセンターによる事業所訪問などで情報を得ている。そのため、学園同窓会「西桜会」にかかる期待が大きくなっている。令和6年度は日胆支部で講演会が開催されるなど、支部の活動が活発化され、一層多くの卒業生の活動・評価を把握することが期待されている。	
Ⅴ 学生支援	20	学生相談に関する体制は整備されているか。	4.7	4.7	4.7	クラス担任制をとっており、学生全員の個人面談を早期に実施している。また問題があると思われる学生に対して、その都度個人面談や状況により父母等面談を実施している。また、学生サポートセンターの学生相談室と連携して、問題の把握・早期解決に努めている。	Ⅴ学生支援 についての 学校自己評価は 適切であると 認められる
	21	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4.8	4.8	4.7	国の修学支援新制度（返済不要な奨学金）を利用している学生は、令和6年度は81名（対在校生 約17%）が利用した。また、日本学生支援機構奨学金の利用者は288名（同60.4%）に上った。また、本校は社会人経験者を対象とした専門実践教育訓練給付金の指定講座となっている。その他、学園独自の支援体制として「学費支援制度」があり活用されている。	
	22	保証人（父母等）と適切に連携しているか。	4.5	4.5	4.4	令和6年度入学式後に父母等対象の入学時説明会が開催された。また多くの学科で個別に懇談会も開催している。出席状況や成績状況等は長期休業前に送付しており、特に日頃より学業や私生活で問題のある学生には、電話連絡や場合により父母等面談を実施するなど連携・情報共有に努めている。	
	23	卒業生への支援体制はあるか。	4.4	4.4	4.3	教員や学生サポートセンター職員による事業所訪問時の状況確認や卒業生向け機関紙「りあん」の発刊、同窓会「西桜会」に対する「学園同窓会支援チーム」による支援、学生サポートセンターによる卒業生対象の再就職支援体制等が整えられている。また、学科においても卒業生からの相談には適宜対応しており、卒業教育（復職支援など）や国試不合格者への対応なども行っている。歯科衛生士科、臨床工学士科では卒業セミナーを開催している。	
	24	ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか。	4.4	4.4	4.6	ロングホームルームなどを活用し、学生サポートセンターによる卒業学年を中心とした就職ガイダンスやOB・OGによる講話、見学実習等により職業観の育成に努めている。	
	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4.5	4.3	4.4	令和6年度はほぼすべての授業で対面による授業が実施された。教育環境として各教室・実習室にはプロジェクターが設置されており、ホームルーム教室の他に講堂、視聴覚室、コミュニティールーム、図書館など人数や授業形態になど対応した施設がある。また、学習支援としてグレクサなどが導入されるなどICT化が推進されている。	
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が実践されているか。	4.4	4.2	4.4	入学した学科の専門職に対する意識を高めることにより、学生が自己理解、自己啓発、自己実現出来るよう、見学実習、卒業生による講話等の方策をとっている。	
Ⅵ 教育環境	27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4.5	4.6	4.5	施設・設備は指定規則に則り、必要な物品等は管理・整備されている。また、毎年、各学科からの物品購入計画に基づき、適宜更新を進めている。	Ⅵ教育環境 についての 学校自己評価は 適切であると 認められる
	28	図書館利用の活性化が図られているか。	4.7	4.6	4.7	図書館利用を活性化するため、入学当初から図書館1階で授業の調べもの学習を全員で実施したり、授業内で図書館の蔵書の紹介、学習時間の確保のために放課後は図書館で勉強していくように継続した声掛けなどが実施されている。そのため、入学時から卒業年次の国家試験対策までグループ学習や個別学習などに幅広く利用されている。また、図書館の環境は学生（卒業生含む）から好評である。（＊令和7年9月25日現在 蔵書数 33,005冊）	
	29	防災に対する体制は整備されているか。	4.7	4.7	4.6	自衛消防組織を編成し、避難経路も定められている。また、緊急連絡網、人命等に関する緊急時の対応が定められている。なお、5月に避難訓練、10月に防災訓練を実施した。	
Ⅶ 学生募集	30	学生の募集は適正に行われているか。	4.5	4.7	4.5	学生の募集は学則や募集要項に則り適正に行われている。入学試験は入試規程、入試判定基準等により実施されている。なお入試規程は入試制度委員会でも適宜見直しされている。	Ⅶ学生募集 についての 学校自己評価は 適切であると 認められる
	31	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4.3	4.6	4.5	募集要項等の印刷物、進学相談会、体験入学、学校説明会等の学生募集活動において、教育内容、学校生活、国試合格率、就職状況等に関する事柄は正確な内容を受験生に提供している。また、学園HPにも情報公開されている。	
Ⅷ 財 務	32	中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。	4.6	4.5	4.4	学校（学園）の財政基盤は、負債（4億9,136万円）に対し運用資産（57億883万円）と約10倍あるため、中長期的には安定していると言える。	Ⅷ財務 についての 学校自己評価は 適切であると 認められる
	33	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4.7	4.6	4.4	予算・収支計画は学園本部で策定し、理事会で承認後施行されている。令和6年度事業活動収支計算書によると、収入は約15億4,370万円（予算15億5,538万円）、支出は約18億2,152万円（予算18億2,028万円）となった。以上より予算・収支計画は実際の収支決算と近いので、計画は概ね有効かつ妥当な範囲であったと言える。しかし、収入は前年度より減少しており、収入増への取組みが必要である。	
Ⅸ 法令等の遵守	34	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.7	4.8	4.6	法令・専門学校設置基準等を厳格に遵守のため、日常より教務関連書類は学科内や学科相互間で確認ミス防止に努めている。また、業務の法令・規定等遵守などを監査の基準とする。西野学園幹事による教学監事監査が実施された。その結果は監査報告書にまとめられ、不適切事項として報告され場合は、該当学科はその処理や改善策についてまとめ後日報告している。	Ⅸ法令等の遵守 についての 学校自己評価は 適切であると 認められる
	35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4.7	4.6	4.7	学校法人西野学園として「個人情報保護に関する方針」を定め、教職員および関係者に周知徹底を図り、学園および各校が保有する個人情報の保護に努めている。また、学生への指導方針として「個人情報保護法に関する学生指導方針」があり、主に学外での実習時の個人情報の秘密保持義務などが指導重点項目として定められている。なお、学外での実習時には実習先と個人情報保護に関する協定を締結をしている。	
Ⅹ 社会貢献等	36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4.5	4.6	4.5	令和6年度は実習室・講堂・視聴覚室の外部貸出しが平常に戻り、関連団体を中心とした研修会・講演会・試験会場などで利用された。また、体育館の貸出しは地域貢献を目的として、サッカー少年団、幼児・小学生向けスポーツ教室、中学生向けバスケットボールスクールなどに年間を通じて貸出しを行った。その他、中学生向けの職業体験「次世代人材職業体験推進事業」や高校生を対象とした「上級学校訪問」なども開催された。	Ⅹ社会貢献等 についての 学校自己評価は 適切であると 認められる
	37	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4.5	4.3	4.4	福祉系の学科を中心にボランティア活動を推奨している。施設の夏祭りボランティアの紹介や関連団体の会に参加しレクリエーションを担当したりしている。また、石山通りの花壇整備や校庭清掃などは学生主体で実施している。	
全 体 平 均			4.5	4.5	4.5	＜評価基準＞4段階 適切－5 ほぼ適切－4 やや不適切－3 適切－2（わからない－1）	